

報道関係者各位
プレスリリース

2018年10月29日
株式会社スタイル・エッジ

**日本パラリンピアンズ協会初の奨学金制度に創設から協力・協賛
パラリンピック出場をめざす次世代アスリートに
完全給付型奨学金の他、先輩パラリンピアンによるサポートも提供**

株式会社スタイル・エッジ（所在地：東京都渋谷区、代表取締役：金弘厚雄、以下スタイル・エッジ）は、パラリンピックを目指す次世代のアスリートを支援するため、日本パラリンピアンズ協会が主催する奨学金制度ネクストパラアスリートスカラシップ（以下、NPAS）に創設から協力・協賛しています。

NPAS とはパラリンピック出場を目指すアスリート育成を目的とした完全給付型の奨学金制度です。選考基準は主に、競技力、成長の可能性、意欲・資質を総合的に判断し、選考委員会にて正式に決定いたします。

障がい者アスリートの最大の悩みは、競技用具などに費用が掛かってしまうことです。スタイル・エッジは、そのような悩みを抱えるアスリートの夢を、活動を支える一助となればと思ひ、NPAS の創設から協力させていただいております。

スタイル・エッジは、「80億の人生に彩りを」を理念に、人と人が互いに認め合える、社会的弱者のいない社会であるために、様々な悩みやトラブルを抱える人を助け、「悩む人の明日をひらく」ことをミッションとしています。障がい者雇用や支援にも積極的に取り組んでおり、その一環として障がい者アスリートへの支援も行っています。障がい者アスリートの最大の悩みは、競技用具などに費用が掛かってしまうこと。スタイル・エッジは、そんな悩みを抱えるアスリートの夢を、活動を支える一助となればと思ひ、今回ご協力させて頂きました。



【奨学金及び副賞】

採用者には以下の支援を与えます。期間は1年間ですが、継続を希望する意思があり、実行委員会と選考委員会により適切と判断された場合は、最長で2年まで奨学金支給期間を延長します。

- ・完全給付型の奨学金を支給
- ・日本パラリンピアンズ協会が実施する各種勉強会への参加
- ・日本パラリンピアンズ協会の理事による相談、支援
- ・語学習得（英語）のサポート など

【選考委員】敬称略

- ・委員長 一般社団法人日本パラリンピアンズ協会会長 河合純一
- ・副委員長 株式会社スタイル・エッジ代表取締役 金弘厚雄
- ・委員 公益財団法人日本障がい者スポーツ協会強化部長 中森邦男（※申請中）
- ・委員 桐蔭横浜大学スポーツ健康政策学部スポーツ健康政策学科准教授 田中暢子
- ・委員 一般社団法人日本パラリンピアンズ協会副会長 大日方邦子
- ・委員 一般社団法人日本パラリンピアンズ協会理事 初瀬勇輔

【2018年度奨学生の声】

船水 梓緒里 選手 車いすテニス

この度は、NPAS 奨学生に採用していただき、ありがとうございます。パラリンピック出場を目指す私にとって、このような良い環境と良い指導者は欠かせません。第1期生として、ご支援いただく皆様へ感謝の気持ちを忘れずに、日々精進してまいります。

古澤 拓也 選手 車いすバスケットボール

この度はネクストパラアスリートスカラシップに選んでいただきありがとうございます。感謝を申し上げますと共に東京パラリンピックに出場できるように日々精進していきたいと思っております。

新田 のんの 選手 クロスカントリースキー

この度は、NPAS 奨学生の1期生になりましたことを大変うれしく思っています。ありがとうございます。今まで以上に責任感を持ち、精一杯競技に打ち込み、頑張りたいと思いま

すので、どうぞよろしく願いいたします。

橋本 勝也 選手 ウィルチェアーラグビー

今回、ネクストパラアスリートスカラーシップの奨学生になれたことに本当に感謝しています。奨学生になった以上、自分のプレーの技術等の向上とともに東北をはじめとし、全国にスポーツ文化を根付かせていくことが出来るように頑張っていきたいと思います。

■会社情報

会社名：株式会社スタイル・エッジ

本社所在地：東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-27-11 アグリスクエア新宿 12F

公式 Web サイト：<https://styleedge.co.jp/>

設立年月日：2008 年 6 月 19 日

代表取締役社長：金弘 厚雄

資本金：2,200 万円（2017 年 1 月 1 日現在）

従業員数：167 名（2018 年 6 月 1 日時点、アルバイト含む）

■本件に関するお問い合わせ先

株式会社スタイル・エッジ

担当：社長室広報担当：小林

Tel：03-5361-7457

Fax：03-5361-7458

E-mail：m.kobayashi@styleedge.co.jp